

中期計画に定める業績評価指標の推移 (2012～2022年度)

目次

中期目標及び中期計画において

数値目標とされている業績評価指標 P.2

- ①進路決定率
- ②県内就職率
- ③科学研究費採択件数
- ④自主財源比率
- ⑤常勤職員に占める法人固有職員の割合
- ⑥管理職等に占める女性の割合

入試・教育関連 P.4

- ⑦入試志願倍率
- ⑧受験生サイトアクセス数
- ⑨累積G Pの平均
- ⑩ディプロマ・ポリシーに対する学生の自己評価
- ⑪専門職連携教育に対する卒業生の自己評価

学生支援関連 P.9

- ⑫退学率
- ⑬休学率
- ⑭授業料減免件数
- ⑮国家試験合格率
- ⑯県内就職者の対県内出身者比率

研究関連 P.13

- ⑰科学研究費新規採択率
- ⑱外部研究資金獲得件数・金額
- ⑲査読付き論文掲載件数
- ⑳学術論文、著書その他の著作物の総数

社会貢献関連 P.14

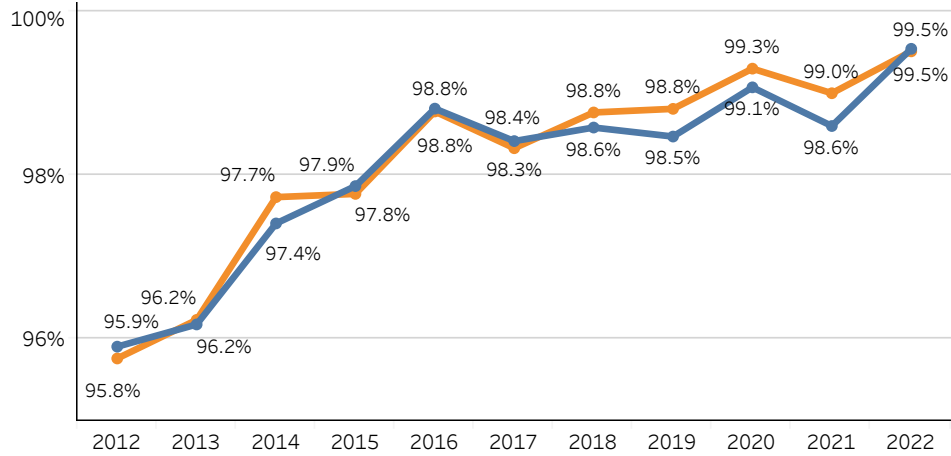
- ㉑自治体・団体・学会の審議会・役員等への教職員派遣数
- ㉒自治体・団体等への講師派遣数
- ㉓施設開放数

業務運営関連 P.15

- ㉔寄附者数
- ㉕経常費に占める管理費の割合
- ㉖学生1人あたり教育経費
- ㉗SD研修延べ参加者数
- ㉘大学ホームページアクセス数

中期目標及び中期計画において数値目標とされている業績評価指標

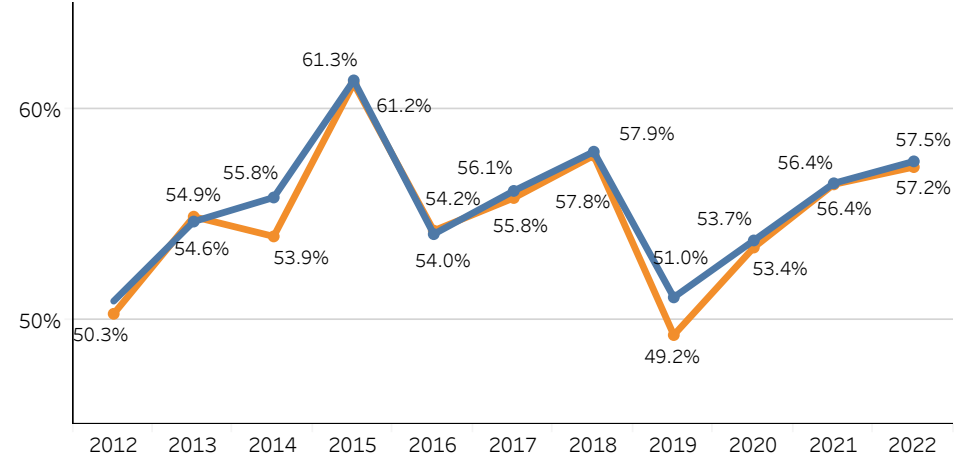
①進路決定率(毎年度100%)



※卒業生・修了生のうち、就職・進学した者の割合

■ 学部+研究科 ■ 学部

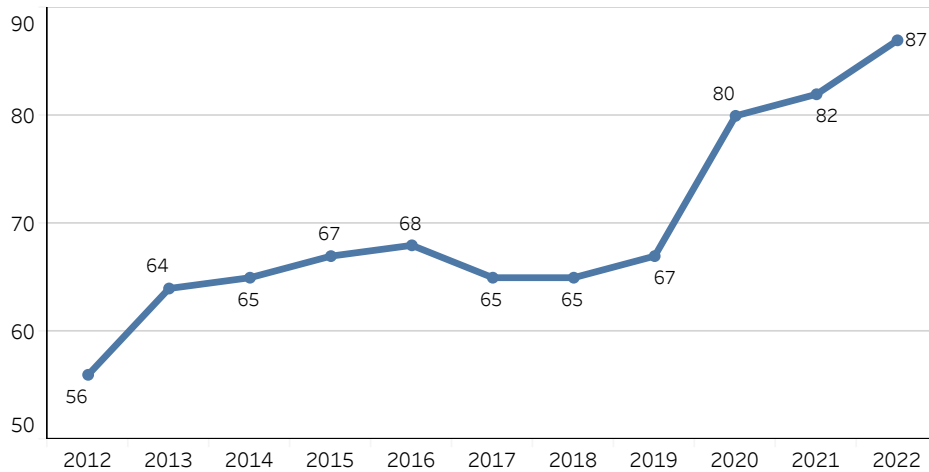
②県内就職率(2027年度までに60%)



※卒業生・修了生のうち、埼玉県内に就職した者の割合

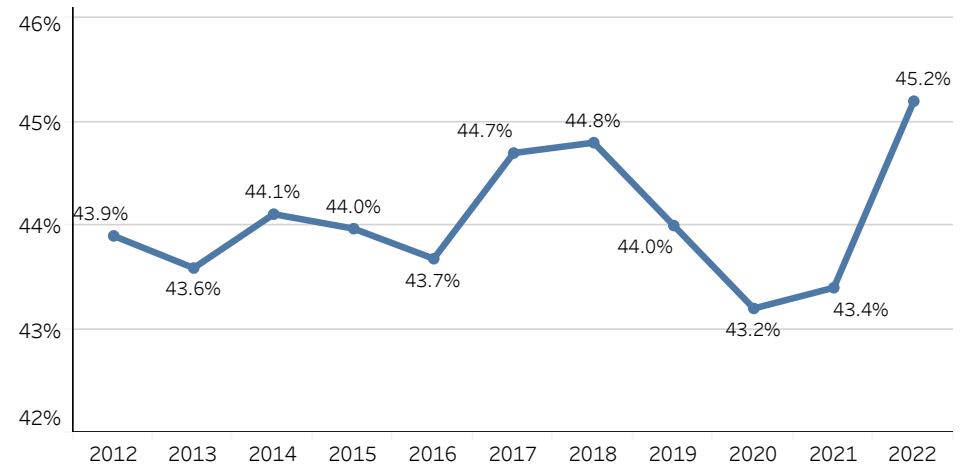
■ 学部+研究科 ■ 学部

③科学研究費採択件数(毎年度65件)



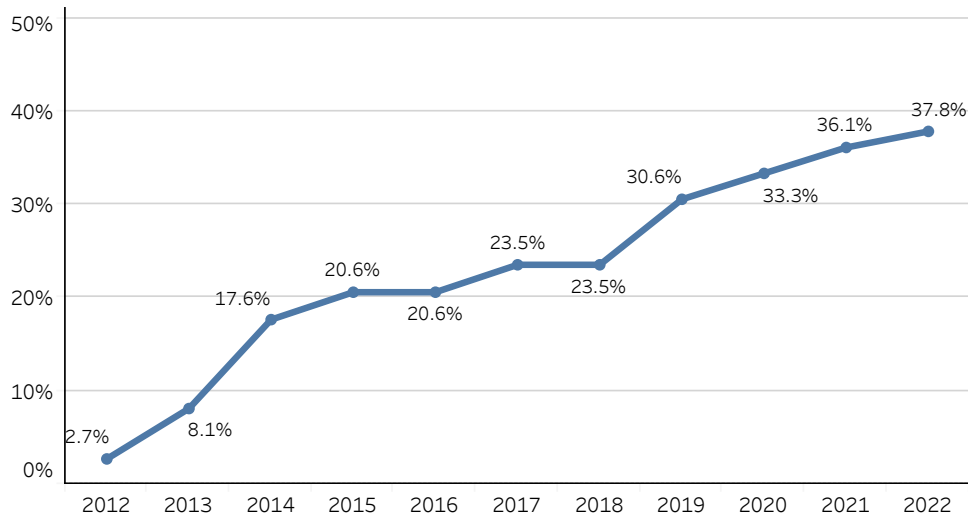
※文部科学省科学研究費の新規採択と継続分の合算

④自主財源比率(毎年度44%)

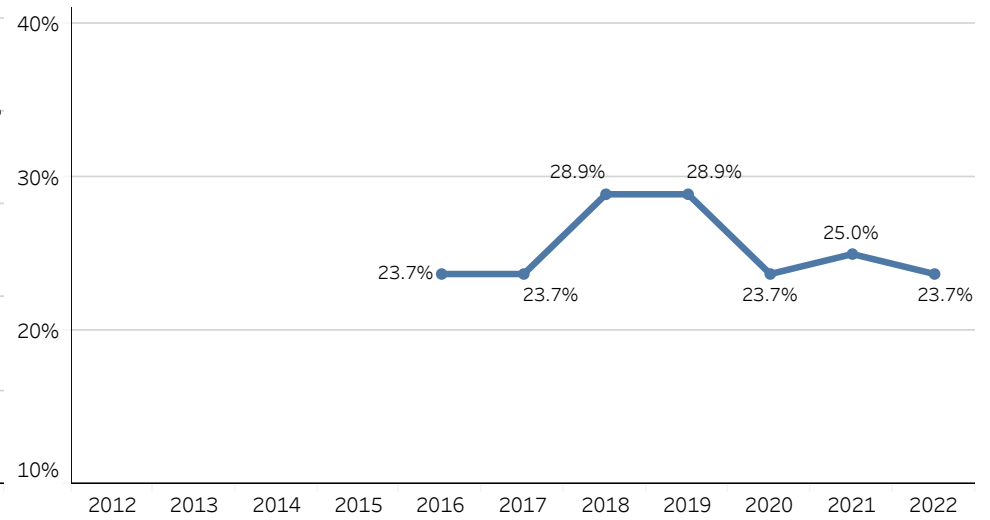


※本学の収入に占める自己財源(自己収入)の割合

⑤常勤職員に占める法人固有職員の割合 (2027年度までに50%)



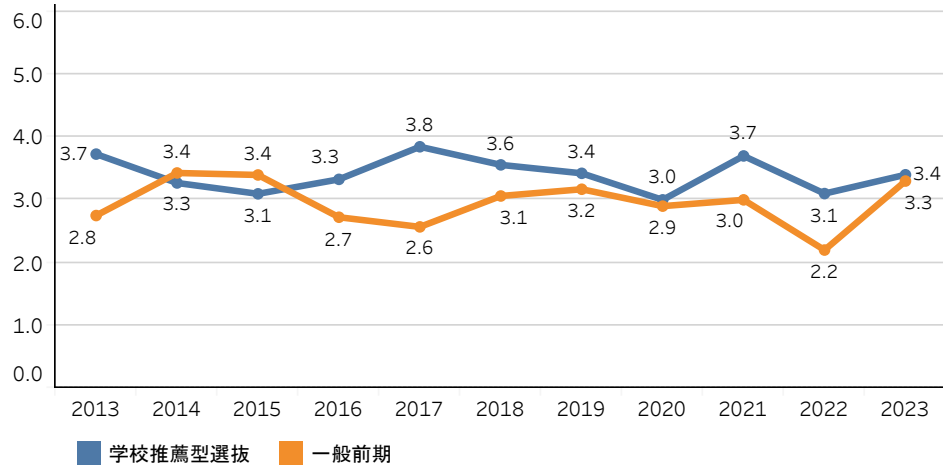
⑥管理職等に占める女性の割合 (毎年度30%) 【2016年度から集計】



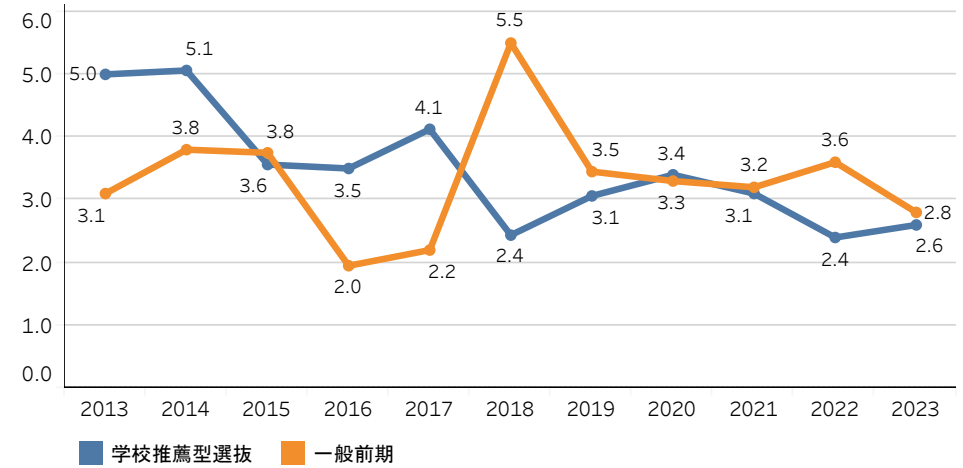
※管理職等とは、専攻長・担当課長以上の役職を指す

入試・教育関連

⑦入試志願倍率(看護学科)



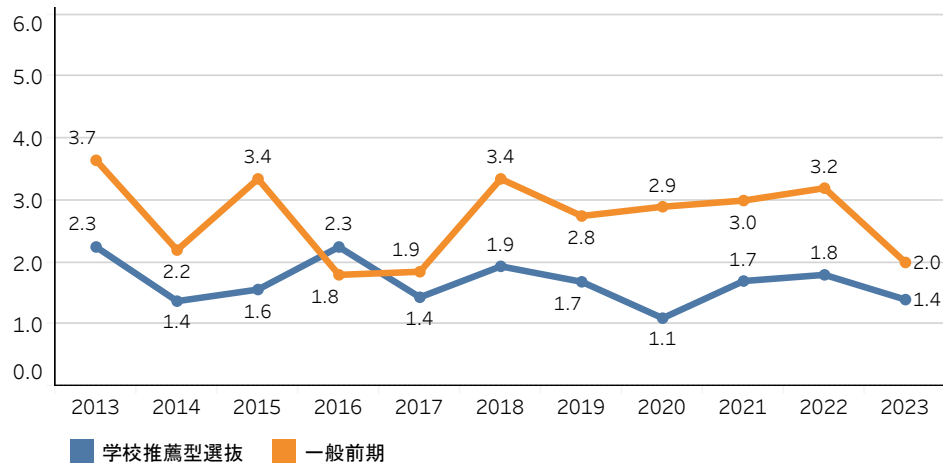
⑦入試志願倍率(理学療法学科)



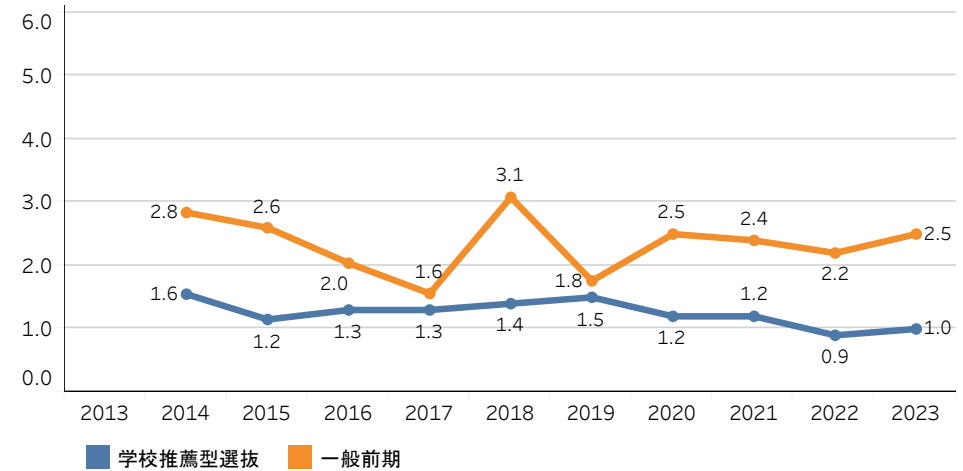
※各入試区分における募集者数に対する志願者数の比率

※大学入試における年度表記は、実施年度ではなく入学年度を表す(例:2023年度⇒2023年度入学者選抜(2022年度実施))

⑦入試志願倍率(作業療法学科)

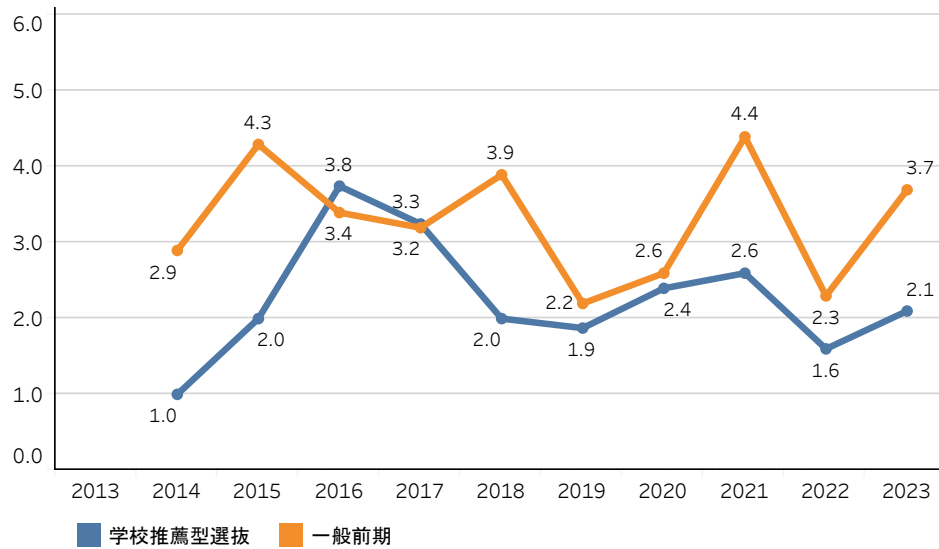


⑦入試志願倍率(社会福祉子ども学科社会福祉学専攻)

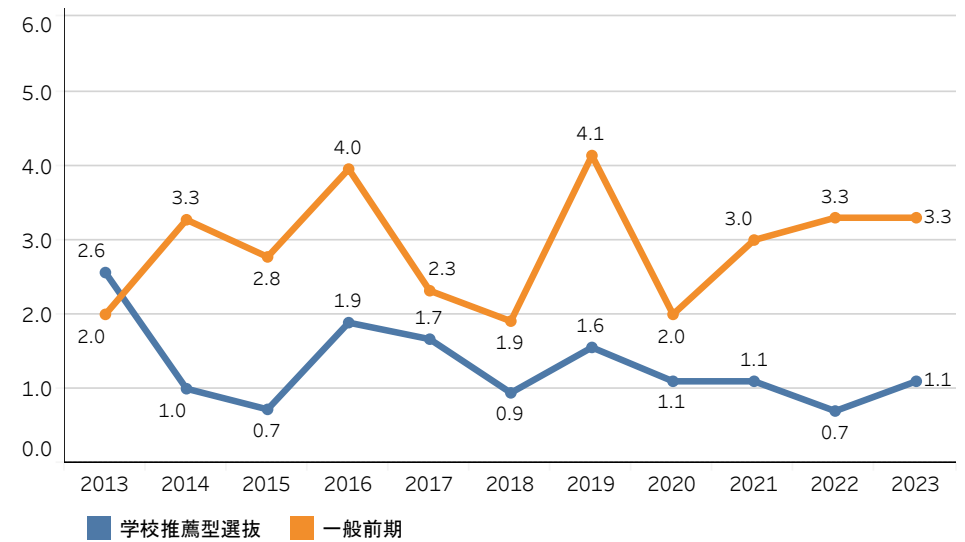


※2014年度から募集開始(社会福祉学科を社会福祉子ども学科に改組)

⑦入試志願倍率(社会福祉子ども学科福祉子ども学専攻)

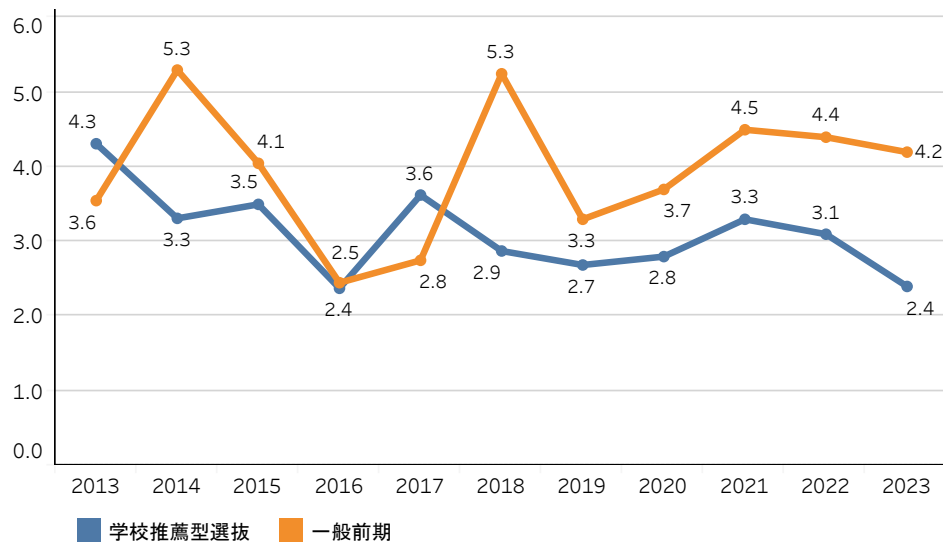


⑦入試志願倍率(健康開発学科健康行動科学専攻)

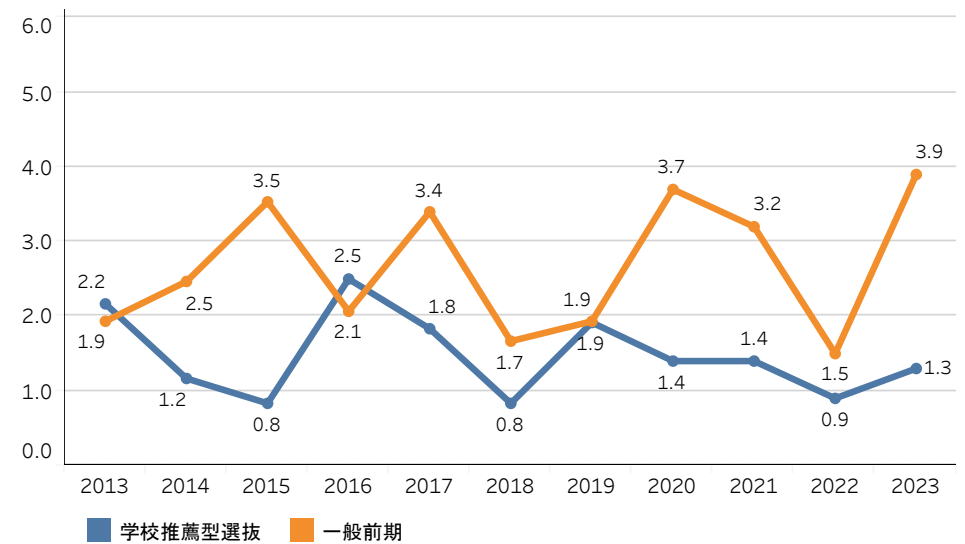


※2014年度から募集開始(社会福祉学科を社会福祉子ども学科に改組)

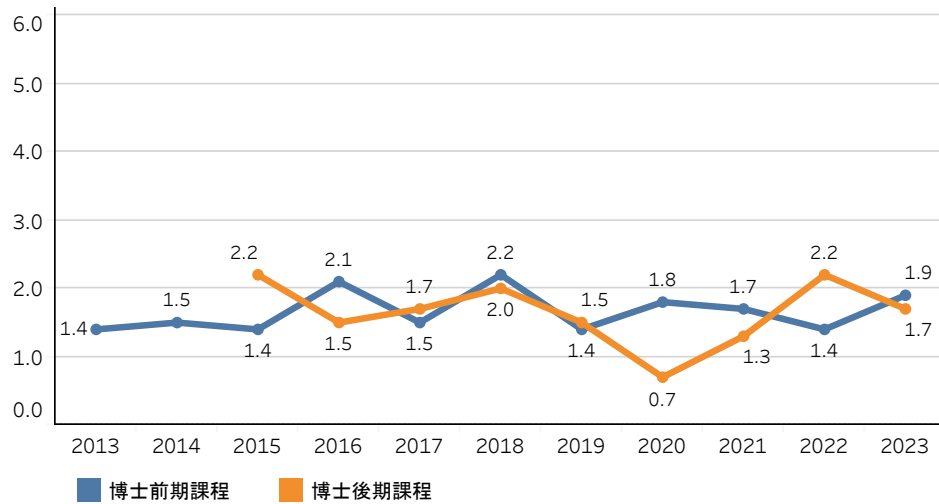
⑦入試志願倍率(健康開発学科検査技術科学専攻)



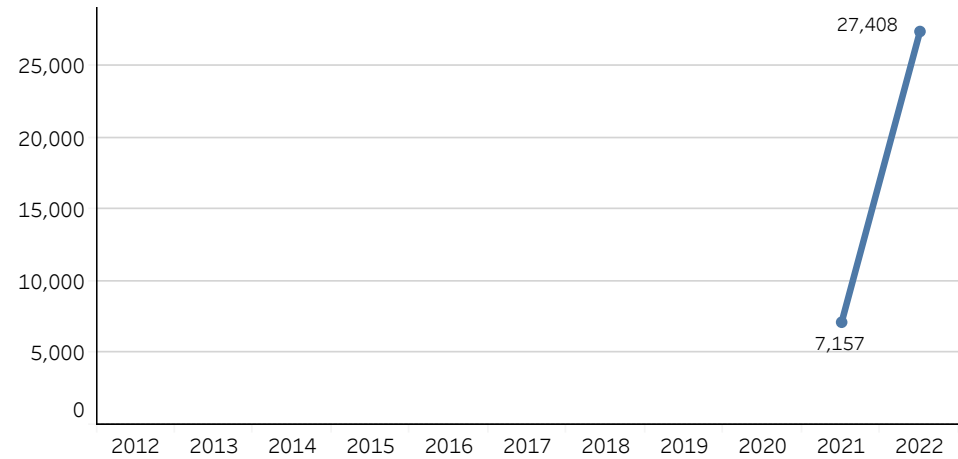
⑦入試志願倍率(健康開発学科口腔保健科学専攻)



⑦入試志願倍率(大学院)

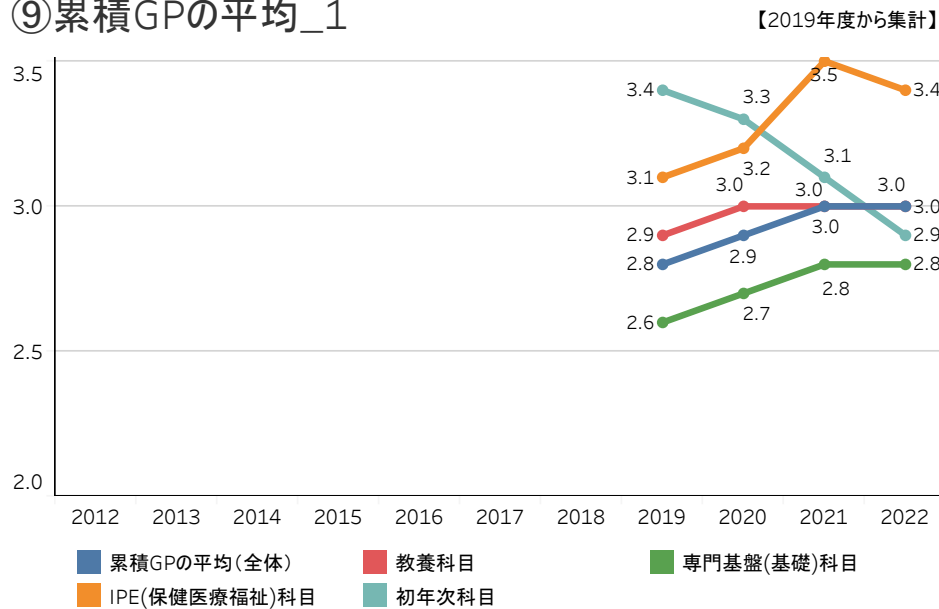


⑧受験生サイトアクセス数

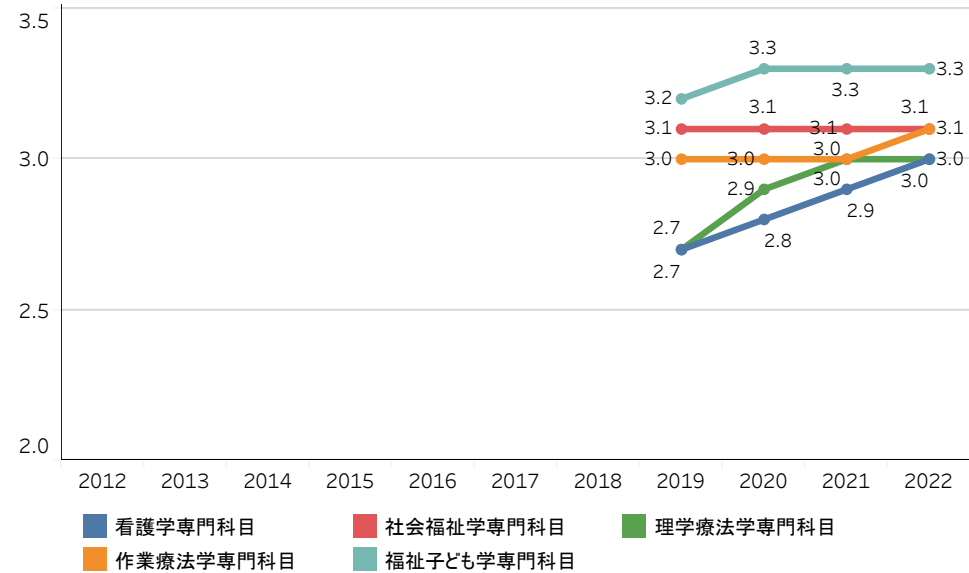


※2021年度から開設

⑨累積GPの平均_1

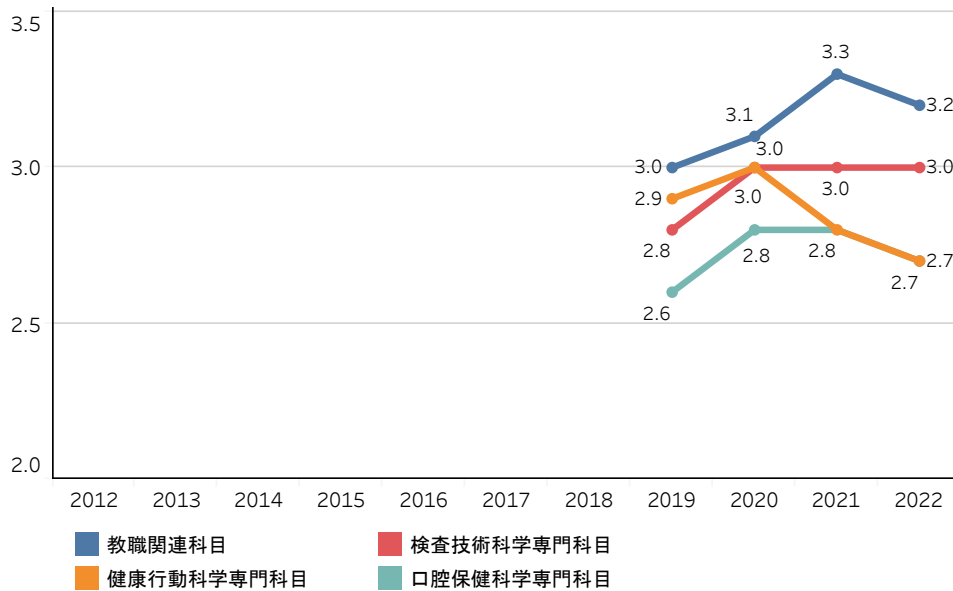


⑨累積GPの平均_2

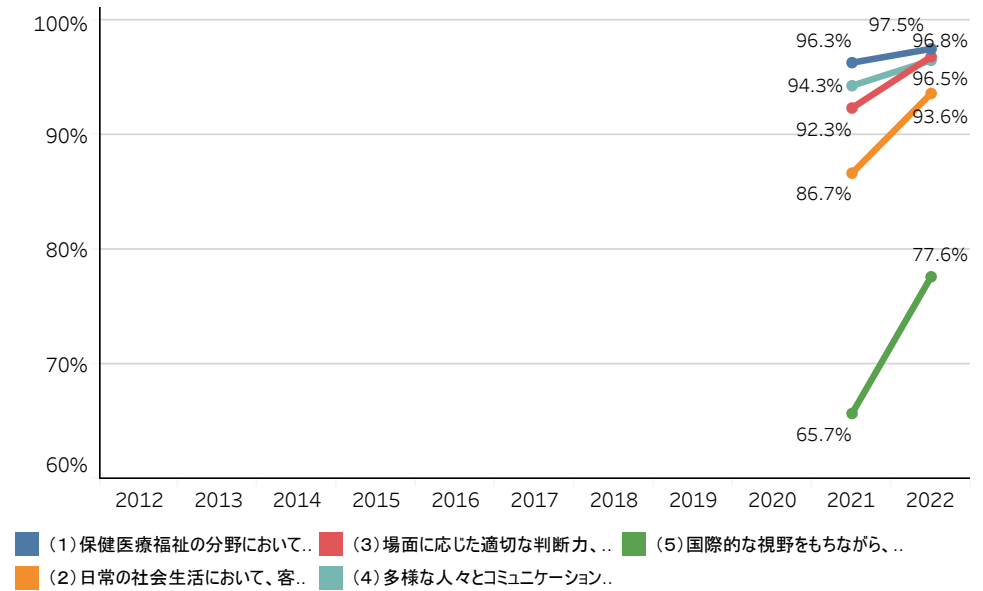


※GP(Grade Point)とは、授業科目毎の評点を5段階(上位より4,3,2,1,0)で評価・付与するポイント
 ※累積GPとは、学生が入学以来履修した科目すべてのGPを指す

⑨ 累積GPの平均_3



⑩ ディプロマポリシーに対する学生の自己評価(学部)



※2022年度回答率:76.6%(418人中320人が回答)

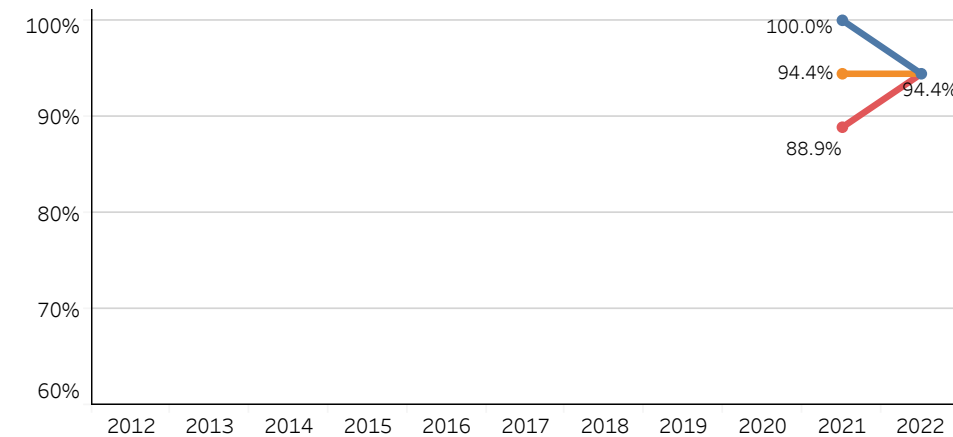
※「⑩ディプロマポリシーに対する学生の自己評価」は学生調査(卒業・修了時)の結果から集計(「本学での学びによって、あなたは次のような、資質・能力を身につけることができましたか」という質問に対し「そう思う・ややそう思う」と回答した割合)

※2021年度から実施

※学部ディプロマポリシー

- (1) 保健医療福祉分野において、対象者の多角的な理解ができるとともに、高い倫理観を備えること
- (2) 日常の社会生活において、客観的かつ批判的な思考(critical thinking)を身に付けること
- (3) 場面に応じた適切な判断力、多面的な視点からの課題へのアプローチ等、様々な課題に対応することのできる専門的かつ総合的な視点
- (4) 多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携することができ、ライフステージに応じた人々の健康と生活を統合的に支える活動に取り組めること
- (5) 国際的な視野をもちながら、地域における保健医療福祉の諸問題へ持続的に取り組むことができること

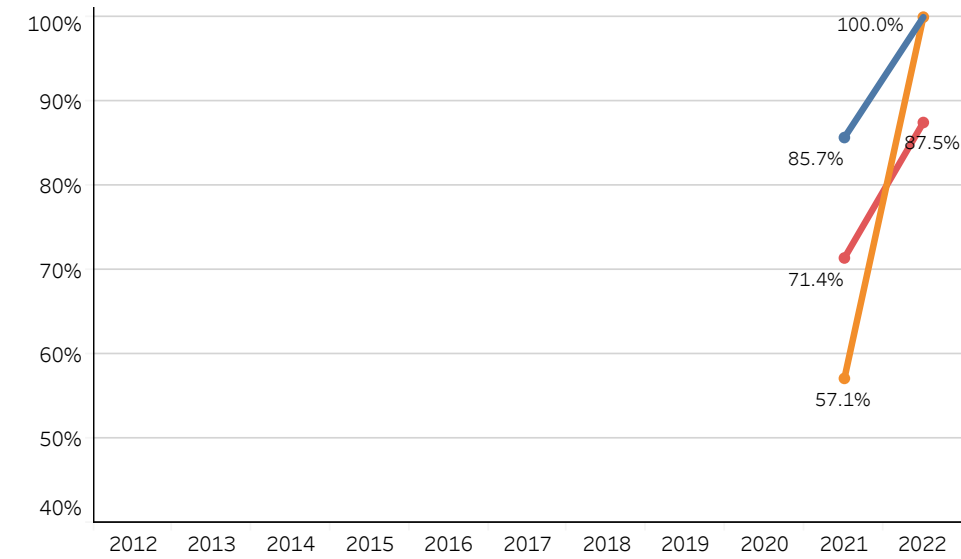
⑩ ディプロマポリシーに対する学生の自己評価(博士前期)



- (1) 保健医療福祉分野の専門的知識と技術の修得
- (2) 保健医療福祉分野の学術的な情報を理解し、活用する能力
- (3) 保健医療福祉分野の学術的な情報を発信し教授する能力

※2022年度回答率:90.0%(20人中18人が回答)

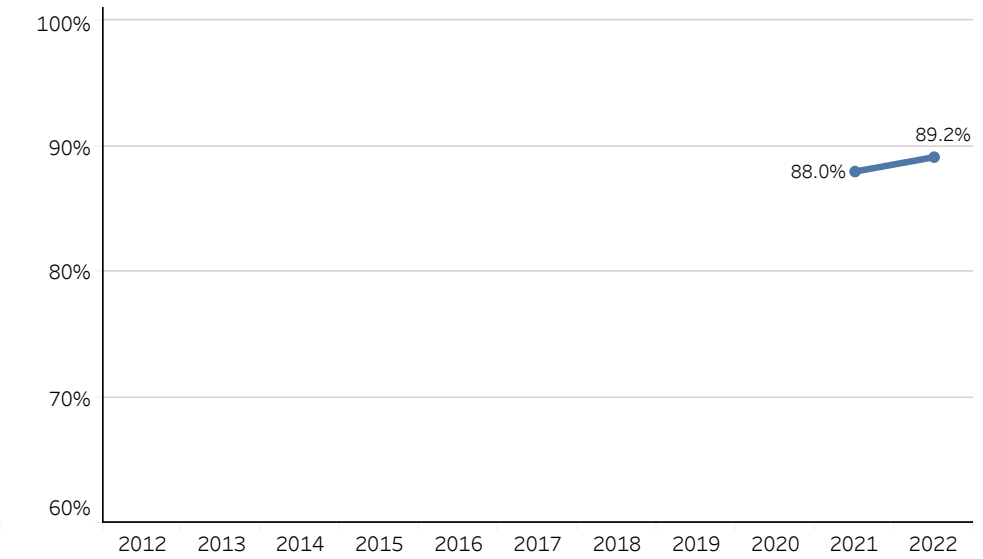
⑩ディプロマポリシーに対する学生の自己評価(博士後期)



- (1) 学際的・創造的な研究を計画し実行できる研究者
- (2) 健康科学分野の理解と倫理性を兼ね備え、中核的・指導的役割を担うことのできる教育者
- (3) 科学的根拠に基づいて人々の健康に資するサービスを提言・遂行できる職業人

※2022年度回答率:88.9%(9人中8人が回答)

⑪専門職連携教育に対する卒業生の自己評価



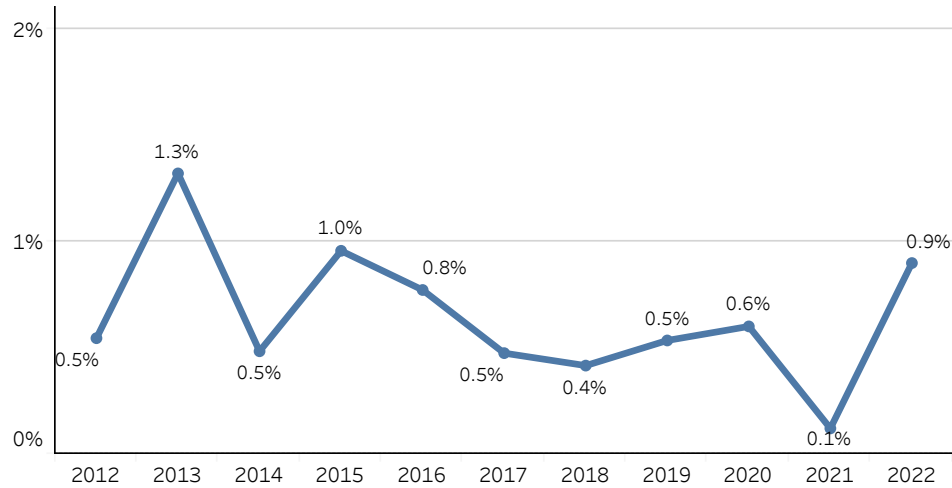
※2022年度回答率:21.2%(1,076人中228人が回答)

※学生調査(卒業生)の結果から集計
 (「専門職連携教育が、卒後、役立っていると思うか」という質問に対し「そう思う・ややそう思う」と回答した割合)

※2021年度から実施

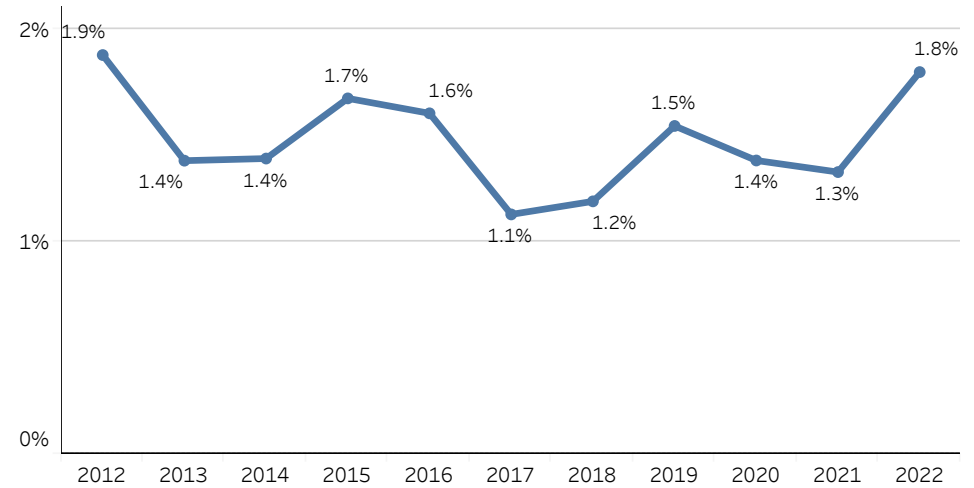
学生支援関連

⑫退学率



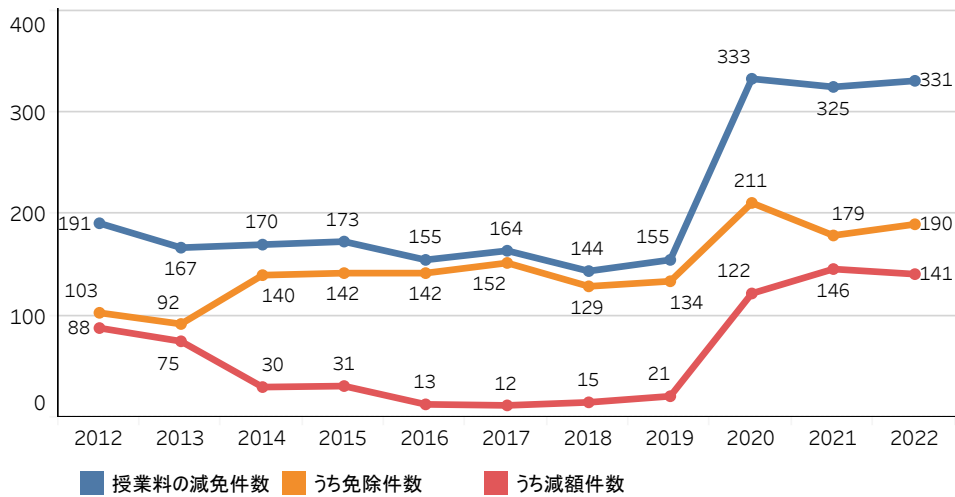
※学部生のうち退学した者の割合

⑬休学率



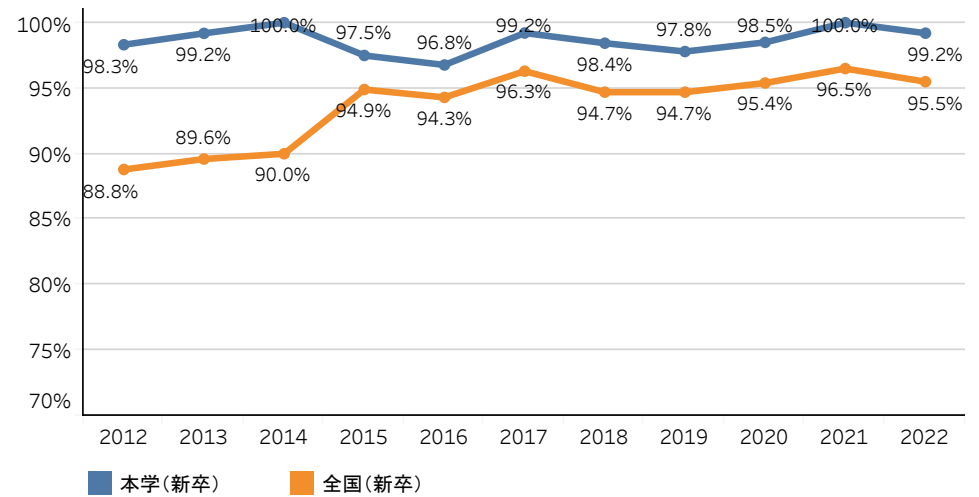
※学部生のうち休学した者(延べ人数)の割合

⑭授業料減免件数



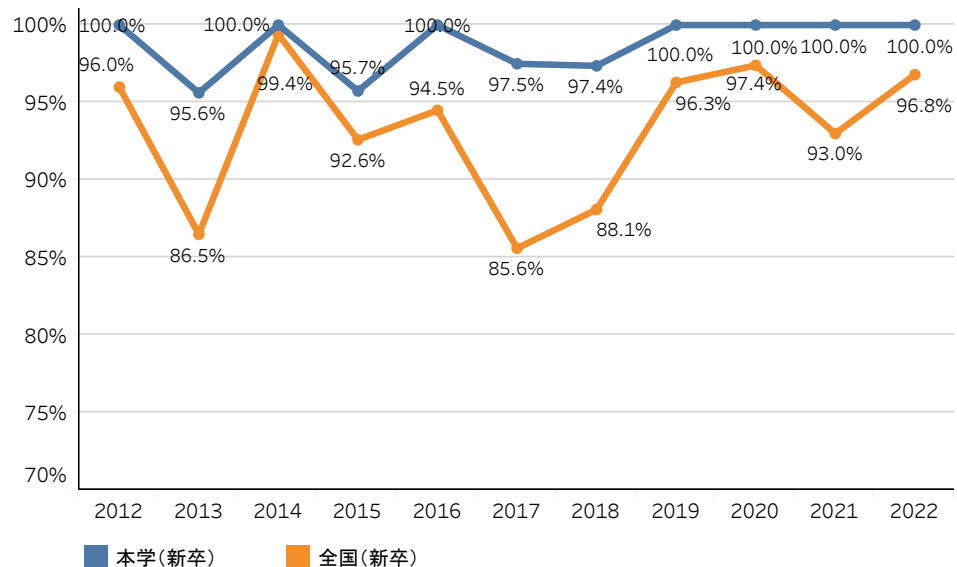
※学部における高等教育の修学支援新制度での減免件数と本学独自の減免件数の合計

⑮国家試験合格率(看護師)

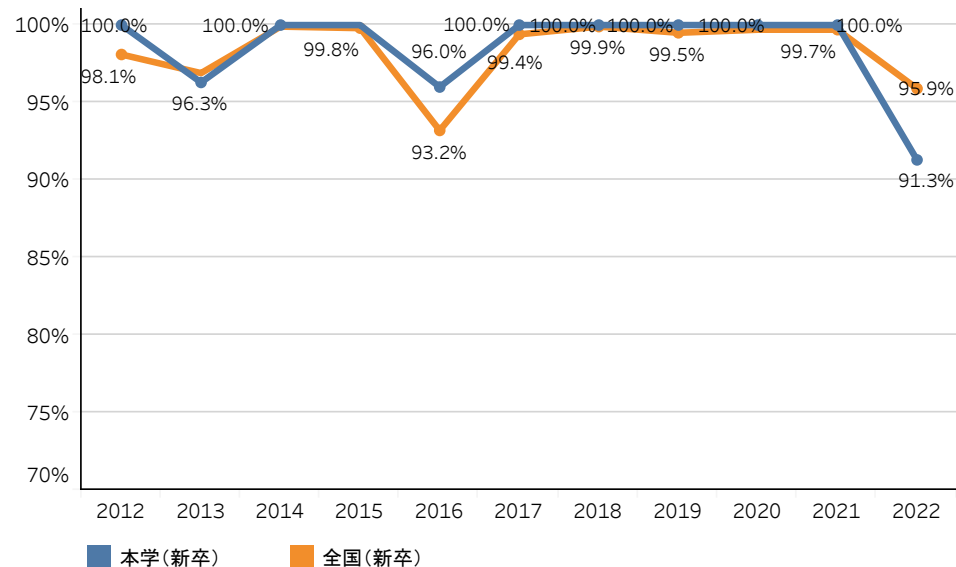


※新卒受験者のうち合格した者の割合(以下同)

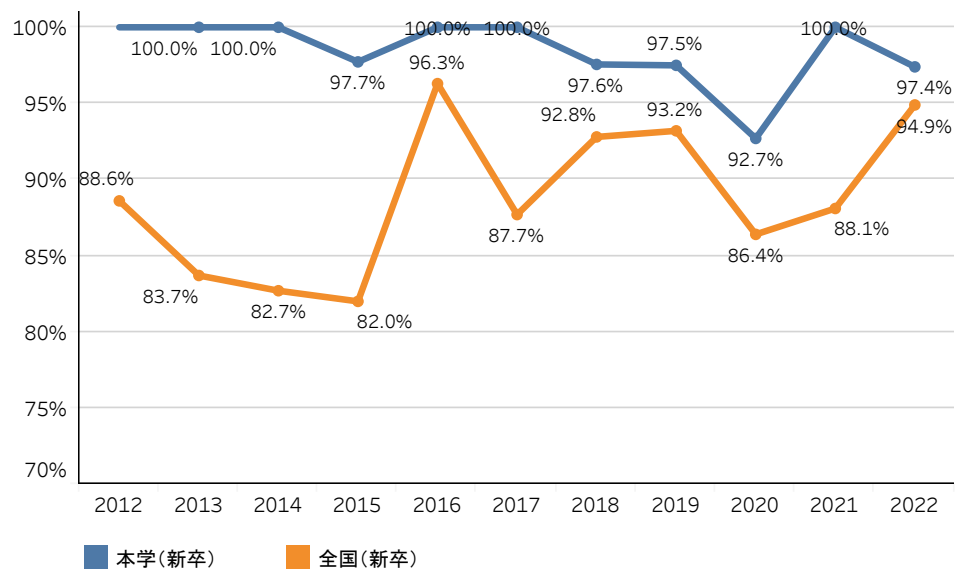
⑮国家試験合格率(保健師)



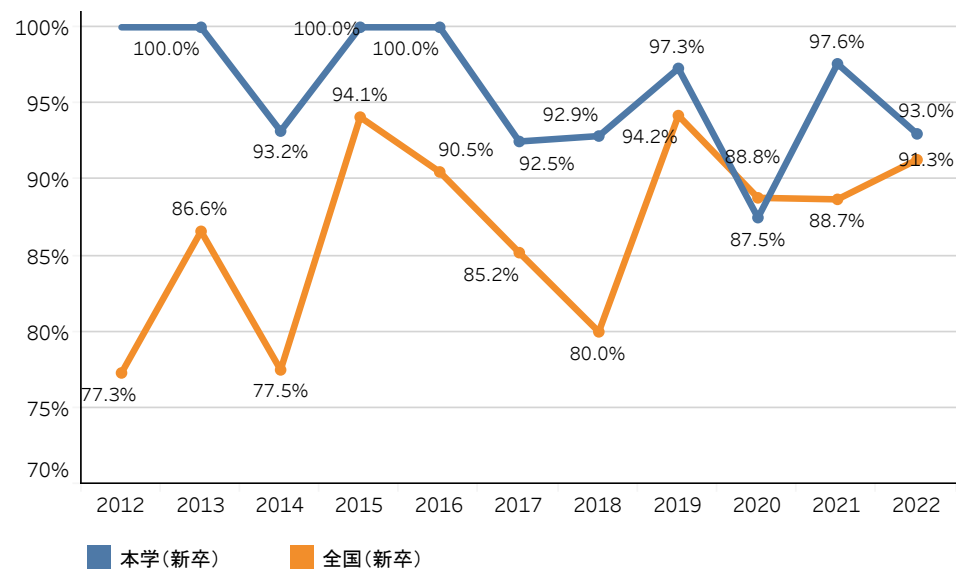
⑮国家試験合格率(助産師)



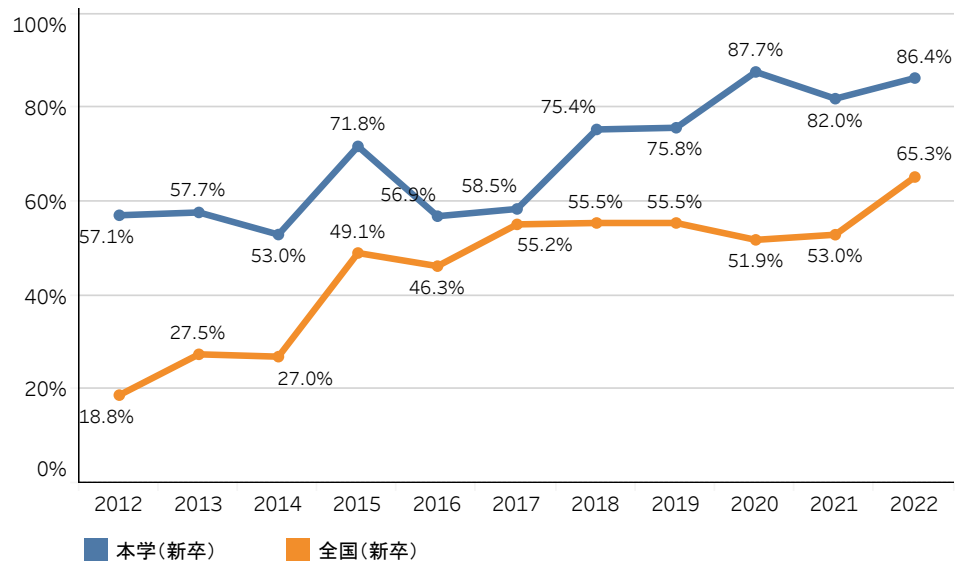
⑮国家試験合格率(理学療法士)



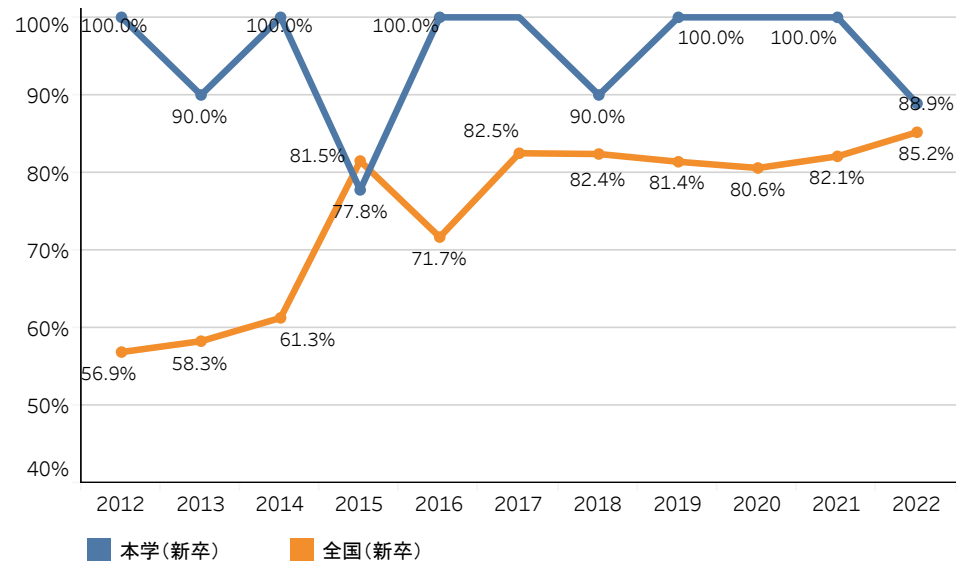
⑮国家試験合格率(作業療法士)



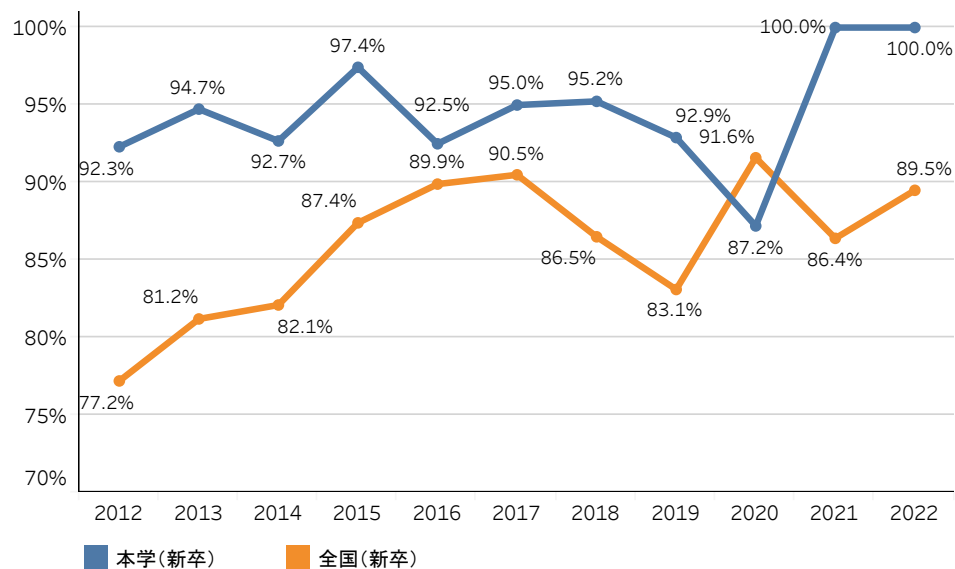
⑮国家試験合格率(社会福祉士)



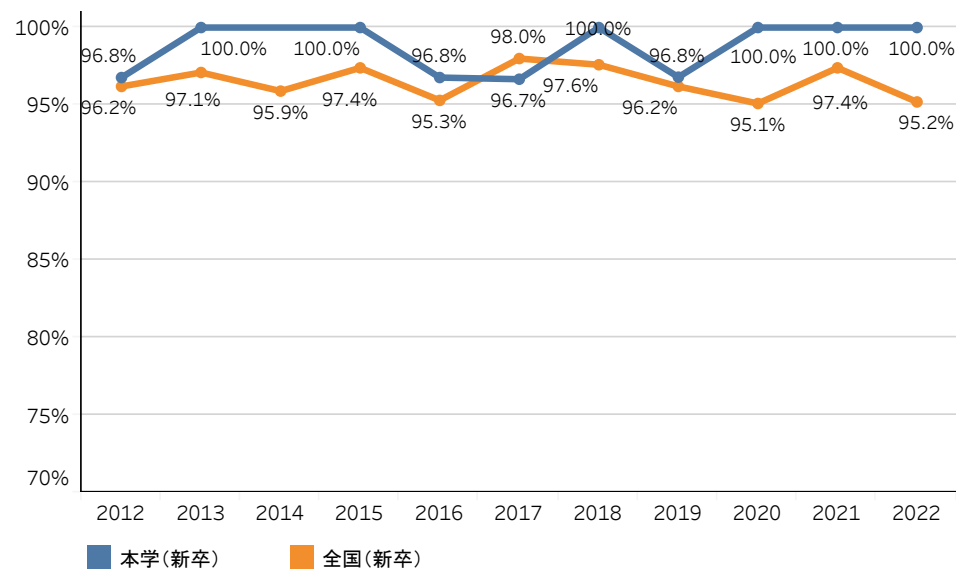
⑮国家試験合格率(精神保健福祉士)



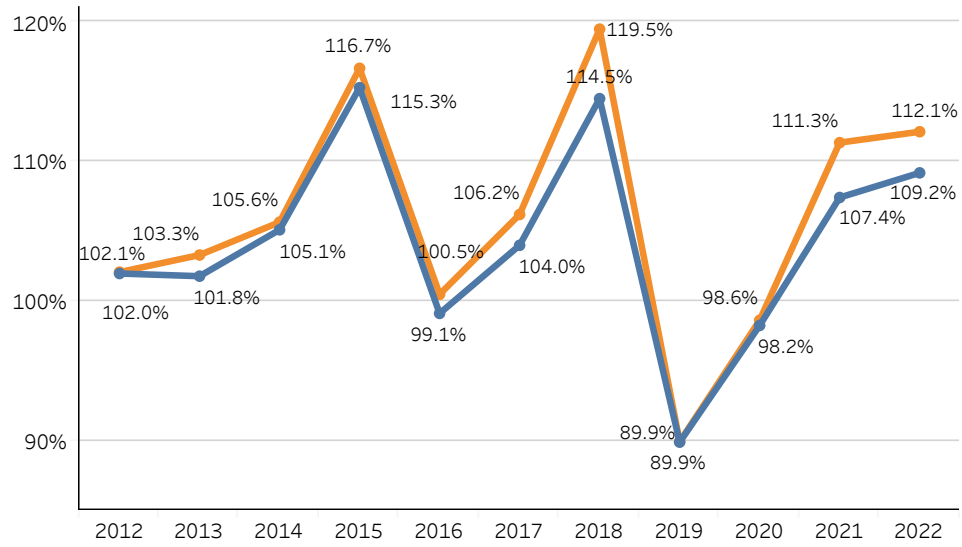
⑮国家試験合格率(臨床検査技師)



⑮国家試験合格率(歯科衛生士)



⑩県内就職者の対県内出身者比率

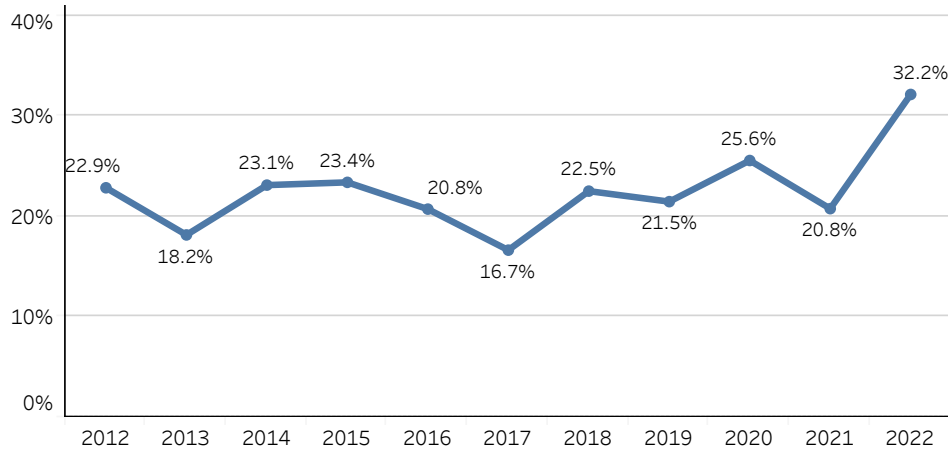


※県内就職者数/県内出身者数(就職した者のみ)

■ 学部+研究科 ■ 学部

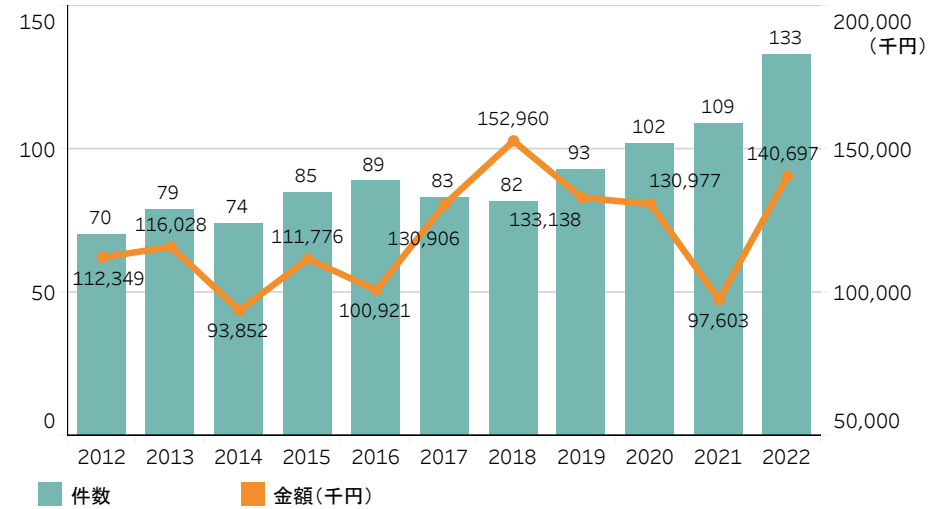
研究関連

⑰科学研究費新規採択率



※文科科研費の応募件数のうち、新規採択された数の割合

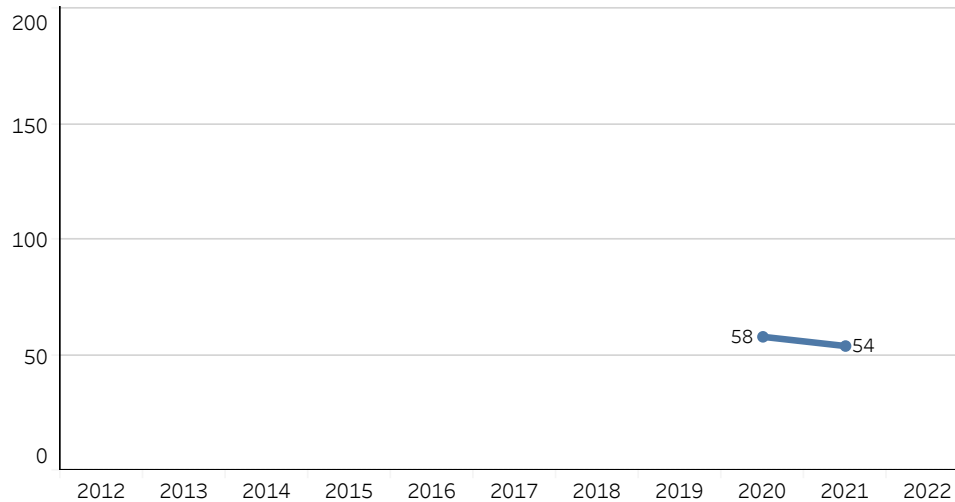
⑱外部研究資金獲得件数・金額



※文科科研費、厚労科研費、共同研究、受託研究、補助事業、研究助成金、特定講座の合計件数・金額

⑲査読付き論文掲載件数

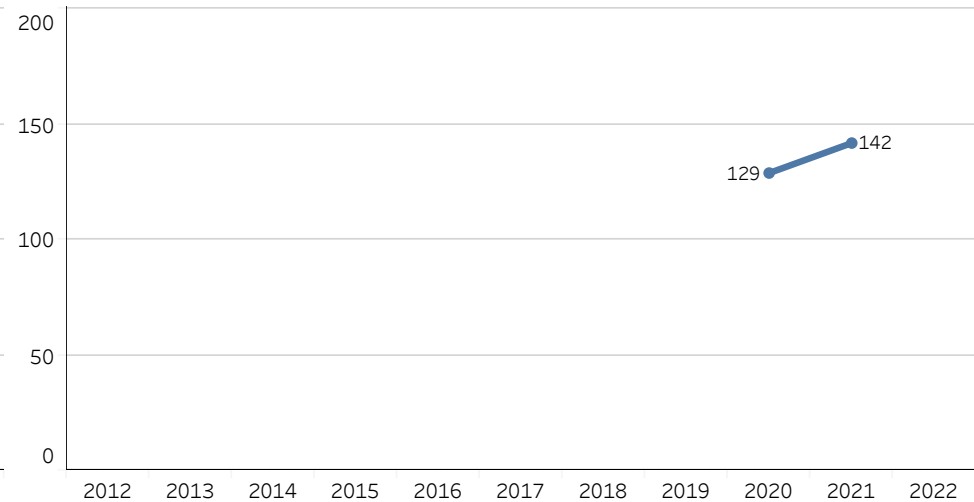
【2022年度実績は集計中】
【2020年度から集計】



※本学教員等の専門誌掲載論文のうち、査読がある論文で、単著又は共著のうち筆頭著者の件数

⑳学術論文、著書その他の著作物の総数

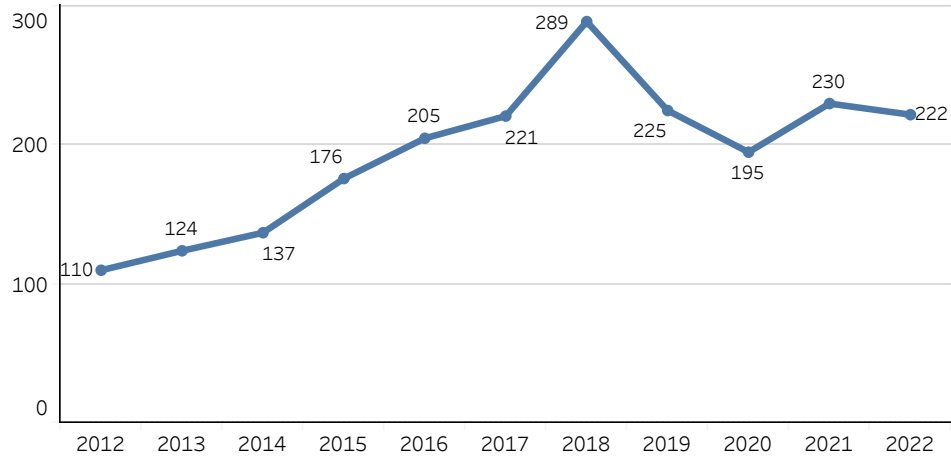
【2022年度実績は集計中】
【2020年度から集計】



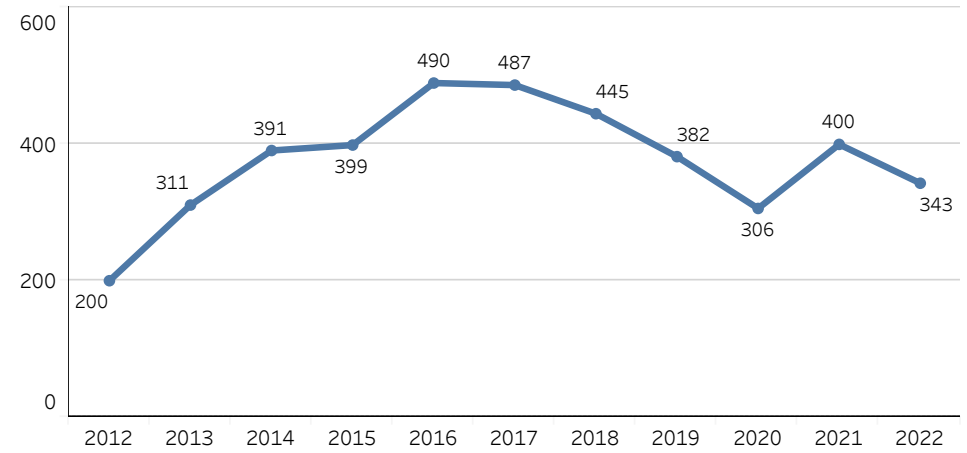
※本学教員によるあらゆる著作物(⑲を除く)の総数

社会貢献関連

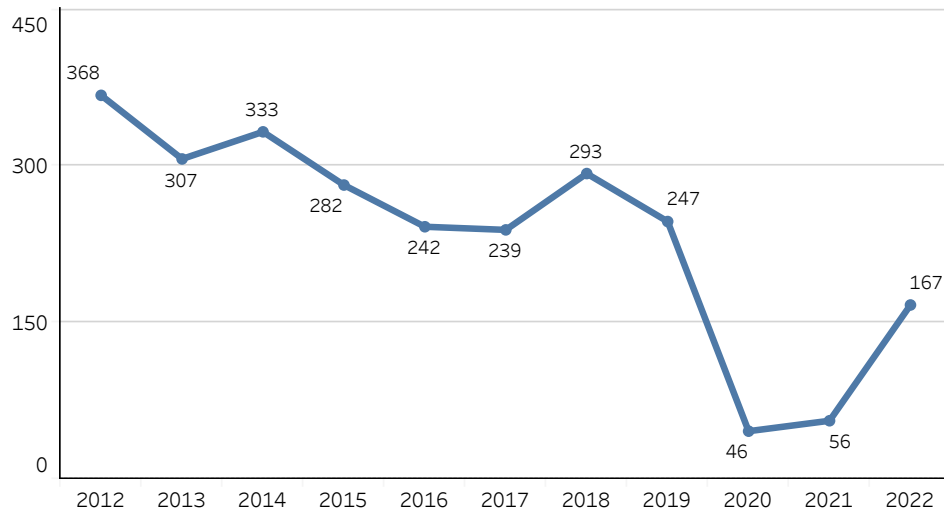
㉠自治体・団体・学会の審議会・役員等への教職員派遣数



㉡自治体・団体等への講師派遣数

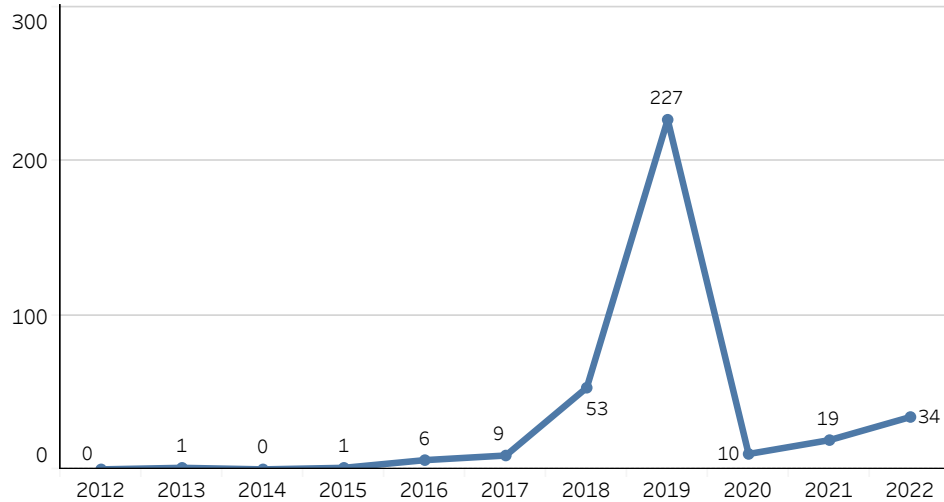


㉢施設開放件数



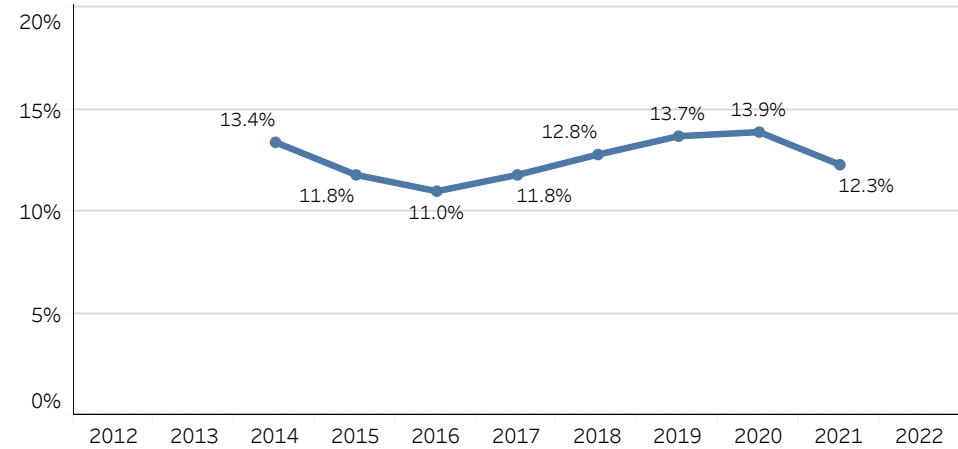
業務運営関連

⑳寄附者数



㉑経常費に占める管理費の割合

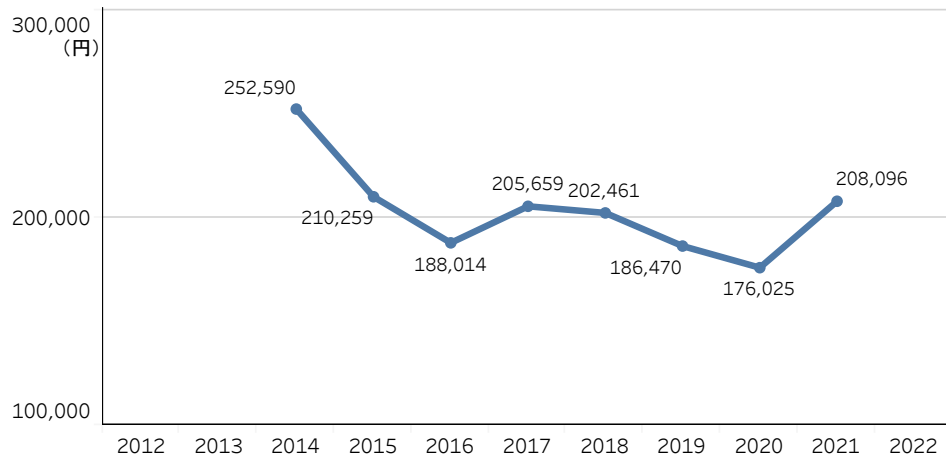
【2022年度実績は集計中】
【2014年度から集計】



※管理費とは、学生募集経費や事務運営費、施設保守管理費などの一般管理費（職員厚生費を除く）及び、法定福利費、地方公務員災害補償基金負担金に要する経費

㉒学生1人あたり教育経費

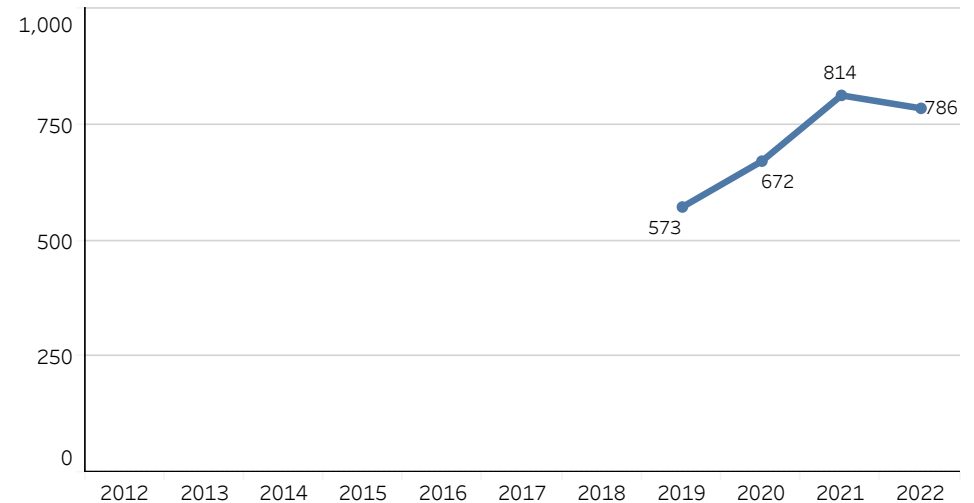
【2022年度実績は集計中】
【2014年度から集計】



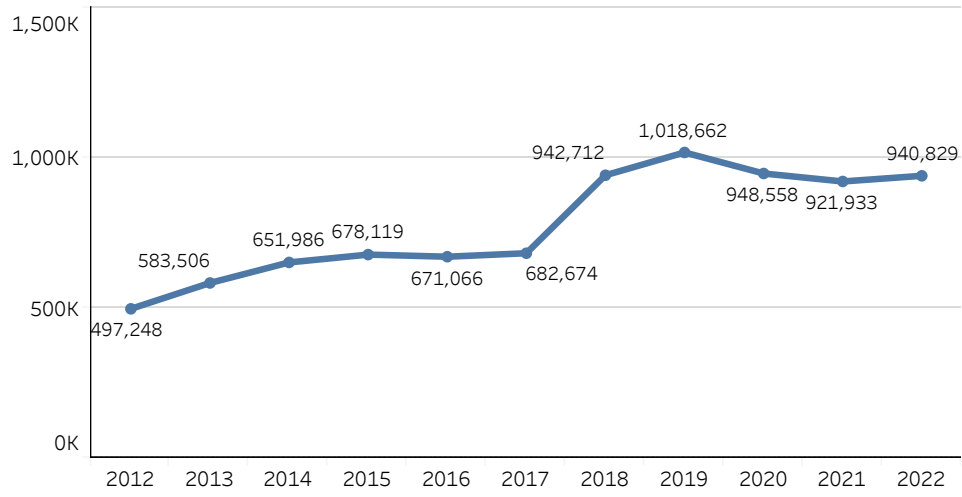
※教育経費とは、教育研究経費から研究経費及び受託研究経費、学生厚生費、保健センター経費、備品費、図書購入費等を除いた経費

㉓SD研修延べ参加人数

【2019年度から集計】



㊸大学ホームページアクセス数



業績評価指標について（参考）

【参考資料3】

< 中期目標 >

- IRの活用により教育、研究、社会貢献活動など大学運営の各分野において業績評価指標を整備してその動向を検証・評価し、継続的に自己改善を図る体制を確立する。
また、P D C Aサイクルを効果的に機能させるため、定量的な目標設定に努める。

< 中期計画 >

- 教育、研究、社会貢献等、大学運営全般に対して成果（アウトカム）を表す業績評価指標を設定し、定期的にその動向を把握・評価することにより、業務改善につなげる。また、中期目標及び中期計画を達成するため、年度計画において事業を推進するための定量的な目標の設定に努める。

< 数値目標と業績評価指標 >

	数値目標	業績評価指標		
性格	県・本学が重要と考える目標	大学運営全般について業績動向を観察（モニタリング）するための指標		
指標	【中期目標】 ①進路決定率100% ②県内就職率60% ③科研費採択件数65件 ④自主財源比率44%以上 【中期計画】 ⑤法人固有職員比率50%以上 ⑥女性管理職等比率30%以上	【中期計画】 数値目標として使用した指標に加え、次の指標を業績評価指標として設定		
		⑦入試志願倍率 ⑧受験生サイトアクセス数 ⑨累積GPの平均 ⑩DPに対する学生の自己評価 ⑪専門職連携教育に対する卒業生の自己評価 ⑫退学率 ⑬休学率	⑭授業料の減免件数 ⑮国家試験合格率 ⑯県内就職者の対県内出身者比率 ⑰科研費新規採択率 ⑱外部研究資金獲得件数・金額 ⑲査読付き論文掲載件数 ⑳その他の著作物の総数 ㉑審議会等への教職員派遣数	㉒自治体等への講師派遣数 ㉓施設開放件数 ㉔寄附者数 ㉕経常費に占める管理費の割合 ㉖学生1人当たり教育費 ㉗SD研修延べ参加人数 ㉘大学HPアクセス数 ㉙その他理事長が適当と認める指標

(注) 1. 業績評価指標としては、各分野の業績動向を適切に表す、わかりやすい指標であるほか、次の要件を満たすものを選択。

- ① 指標として数値化することが技術的に可能であること
- ② 指標を作成するためのデータの収集が容易であり、多大なコストや手間暇がかからないこと

2. 業績評価指標に急激な変動があったり、望ましくない方向に向かっていたりした場合、それを早期に発見し、学内の各7機関で何が問題なのか要因を調査・分析し、業務のあり方を見直す契機とする。